

令和3年度 第2回 横浜市鶴見公会堂指定管理者選定委員会	
日 時	令和3年8月19日(木) 14時00分から15時45分まで
開 催 場 所	横浜市生麦地区センター 中会議室
出 席 者	佐々委員長、杉浦委員、工藤委員、廣崎委員、阿部委員
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開(傍聴者なし)
議 題	鶴見公会堂における指定管理者の候補者の選定について (応募団体によるプレゼンテーション、質疑応答、審査、採点)
決 定 事 項	鶴見公会堂の指定管理者の候補者として「株式会社アクト・テクニカルサポート」を選定した。
議 事	<p>1 定足数及び会議の公開の確認 委員5名が出席しており委員会が成立していることや、傍聴者がいない旨を事務局から報告。</p> <p>2 応募状況の確認 応募者説明会・見学会への参加状況や応募状況について事務局より報告。 また、応募団体が暴力団またはその構成員の統制下にある団体でないことと、市税の納付が確かに行われていることについて確認済みの旨を報告した。</p> <p>3 委員会のスケジュールについて説明 資料「タイムスケジュール」に基づき事務局より説明。</p> <p>4 鶴見公会堂における指定管理者の候補者の選定について (1) 応募団体(株式会社アクト・テクニカルサポート)によるプレゼンテーション (2) 質疑応答 (委員) 御社は人材派遣事業を主としてスタートしたようだが、今回は鶴見公会堂の施設管理業務となるため、事業展開の経緯を知りたい。 (団体) 弊社は総合人材サービスを行う企業としてスタートし、主に鹿島建設グループの人材派遣を行ってきた。キャストイング事業部では主に施設運営や管理業務を担当し、東京ウィメンズプラザや江戸東京博物館・江戸東京たてもの園などの業務委託や、港区立商工会館での指定管理を請け負っている。今までの豊富な経験を活かしていきたいと感じ、鶴見公会堂の指定管理者選定に応募した。 (委員) 事業計画書2ページにある「SDGs」とは何か。この考えに沿ってどのような取組を行うのか。 (団体) 事業計画書10ページより、横浜市では「横浜市SDGs未来都市計画」にて環境への取組や文化芸術の活性・担い手の育成など、地域の実態を踏まえた2030年のあるべき姿や取組を定めている。この考えに則り、施設</p>

内に展示ギャラリーを設け、地域の子どもたちに市全体の取組や活動団体の催し物などを掲示することで発信していきたい。

(委員) 事業計画書 5 ページにある人員体制について、館長・副館長を含めて 10 名程度のスタッフにて運営を行うという考えでよいか。

(団体) 館長 1 名、副館長 1 名、スタッフ 8 名程度を配置するとともに、ホールアドバイザーが週 1 回出勤して設備の保守や利用者サービスの充実を図る予定。また、弊社では管理担当者を 2 名配置し、適宜フォローアップを行う予定である。

(委員) 新型コロナウイルス感染症対策について、御社としての特徴的な感染防止対策があればお教えいただきたい。

(団体) 事業計画書 15 ページに記載のとおり、横浜市文化施設における新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインや弊社の行動指針をもとに感染症対策・防止マニュアルを作成し、努めていきたい。弊社の特徴的な対策としては、37 度以上の発熱があった場合は会社に報告することなどが挙げられる。弊社では新型コロナウイルス感染症ワクチンの職域接種も行っており、個人の自由ではあるが、現場スタッフも職域接種を利用できるように定めている。

(委員) 事業計画書 13 ページの収入計画の考え方について、パンフレットスタンドによる広告収入の記載があった。この広告収入は、スタンドの上部にポスター等を掲示する場合を想定しているのか、チラシ等を配架する場合を想定しているのかを伺いたい。また、鶴見公会堂では地域の活動団体が公演等を行う際にパンフレットの配架を依頼することが想定されるが、その場合にも手数料を徴収するのか確認したい。

(団体) パンフレットスタンドの広告収入については、チラシ等の配架場所を貸し出す際の手数料として費用を徴収することを考えている。ただ、鶴見公会堂はサークル団体による発表会等も想定されるため、あくまで営利目的でのイベント実施に伴うチラシの配架に対して手数料を徴収していきたいと考えている。

(委員) 事業計画書 3 ページに学生ボランティアによる協働運営と記載されているが、学生ボランティアをどのように集めるのか、具体的にどのような取組を行うのかお教えいただきたい。

(団体) 準備期間からなるべく多くの学生にご参加いただけるよう、鶴見公会堂の HP や SNS 等を活用して募集を行いたい。活動内容は、自主事業にてイベントを開催する際のリーフレット配布や施設内の飾りつけなど、年齢を問わず一緒に施設を盛り上げていけるような取組を行いたいと考えている。

(委員) 鶴見公会堂を利用する際の申込方法はどのように考えているか。

(団体) はじめは紙面上にて申請いただくことを想定しているが、予算に余裕があると見受けられた場合は予約システムを導入していきたいと考えている。

(委員) 万が一、複数の団体が同日に利用を希望する場合は、どのように対処する

	<p>のか。</p> <p>(団体) 選定後しばらくは抽選で行い、後には先着順での受付を考えている。</p> <p>(委員) 事業計画書 7 ページに利用客と合同防災訓練を行う旨が記載されているが、具体的にはどのようなことを行うのか。</p> <p>(団体) 事前に利用者向けに広報を行い、停電時を含めて避難経路等の確認を一緒に行うことを想定している。</p> <p>(委員) 事業計画書 6 ページに区内人材の採用を積極的に行う旨が記載されているが、どのように応募を行い、採用する予定か。</p> <p>(団体) 現在、鶴見公会堂で勤務している人が継続雇用を希望する場合は、弊社の採用条件に合うか確認を行ったうえで積極的に採用していきたいと考えている。横浜市内でも人材マーケット活用があるため、市内・区内在住の方を中心に募集をしていきたい。</p> <p>(委員) 事業計画書 8 ページにユニバーサル対応についての記載があるが、具体的にはどのような対応を行うのか。</p> <p>(団体) 江戸東京博物館等での業務委託では、研修時に車いすを使用して、車いすのお客様の目線を体験するような研修を行っている。安心して施設を利用いただけるよう、日頃から整理整頓を心掛けるなど、スタッフ全員の意識づけを行っていきたい。</p> <p>(委員) 舞台装置などの老朽化に対して、設備の部品調達等が課題になると感じている。御社では対応する体制が整っているか。</p> <p>(団体) 保守管理については、まずはメーカーに相談したい。部品が調達できない場合もあると思うが、類似の部品で対応できるかも含めて最大限対応したいと考えている。やむを得ずに設備の交換を行う場合は、まずは鶴見区に相談する。</p> <p>(3) 団体の財務状況について 応募団体は健全な財務状況である旨、廣崎委員より報告。</p> <p>(4) 審査結果 「株式会社アクト・テクニカルサポート」が委員 5 名の合計得点で 669 点 / 850 点を獲得した。最低基準点 (480 点) を満たしているため、同団体を指定管理者の候補者として選定する。</p>
<p>資 料</p> <p>・</p> <p>特 記 事 項</p>	<p>1 資料 タイムスケジュール</p> <p>2 特記事項 なし</p>